

## 熊本城 熊本市中心区本丸 1-1

熊本城を築城した加藤清正（1562年-1611年）は、長引く戦乱で荒れ果てていた肥後を立て直すために、治山治水工事や、水田の開発などに力を入れます。また、南蛮貿易に取り組むなど、領地経営を積極的に行うことで肥後は豊かになりました。2代にわたった熊本城主の加藤家が改易された後、細川忠利が肥後に入国しました。剣豪宮本武蔵は、寛永17年（1640）57歳のとき、藩主細川忠利に招かれ現在の千葉城（ちばじょう）町付近に屋敷を与えられ晩年を過ごしたと言われていて、ここ熊本で創始した二天一流兵法は現在も二刀流の剣術として継承されています（残念ながら武蔵に関わる地を探す事が出来ず）。同城は西南戦争直前の火災や平成28年熊本地震で被災しましたが震災復興のシンボルとして復旧作業が進められ、令和3（2021）年3月に完全復旧しました。



復興天守



熊本地震で崩れた石垣



飯田丸五階櫓下の『奇跡の一本石垣』

石垣の修復準備



宇土櫓



復興天守